

旧L-rootの話

Matsuzaki 'maz' Yoshinobu

<maz@iij.ad.jp>

2008/11/25

Copyright (c) 2008 Internet Initiative Japan Inc.

1

L-rootのIPアドレス変更

- 2007年11月1日に実施
- 変更前: 198.32.64.12
 - 198.32.64.0/24として広報
 - ep.netのPAブロック(198.32.0.0/16)の一部
- 変更後: 199.7.83.42
 - 199.7.83.0/24として広報
 - “Critical Infrastructure”用としてARINからICANNに割り当てられたブロック

2008/11/25

Copyright (c) 2008 Internet Initiative Japan Inc.

2

ICANNのアナウンスから実施まで

- 2007年10月24日
 - ICANNのBlogで変更についてアナウンス
 - <http://blog.icann.org/?p=227>
- 2007年11月1日
 - 変更の実施
 - 新旧アドレスともに答える状況
- 2008年5月2日
 - 旧アドレススペースの広報停止

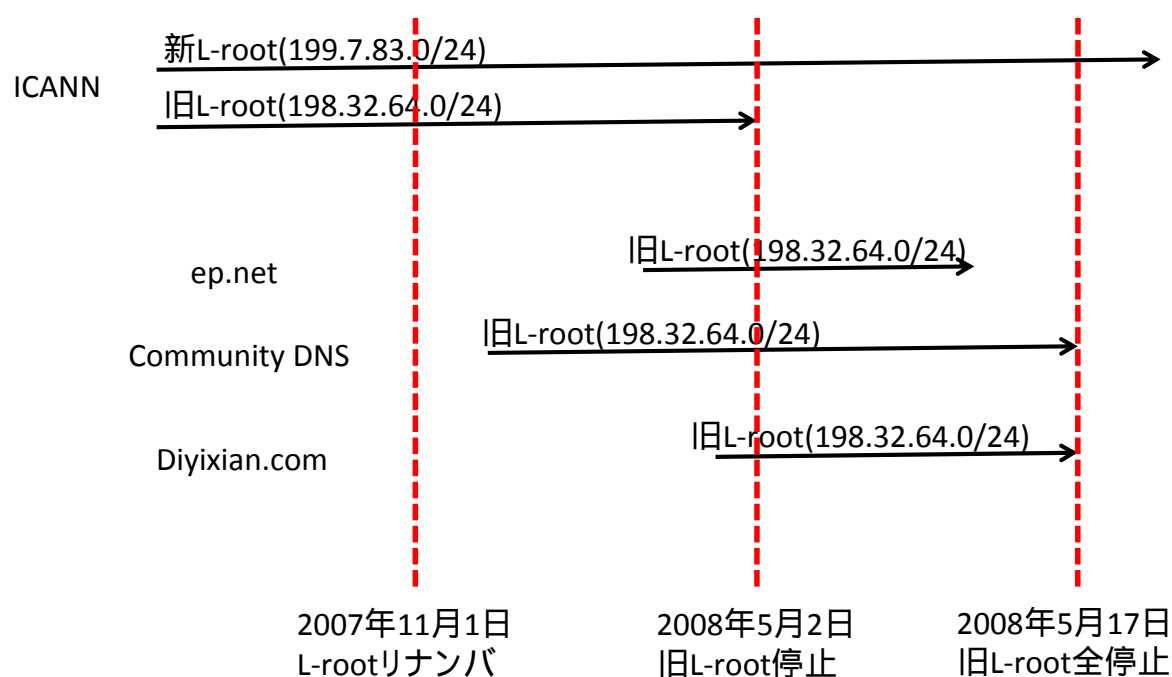
その時

- 旧L-rootで使っていたブロックを広報
 - ep.net, Community DNS & Diyixian.comの3組織
 - 198.32.64.0/24
- 旧L-rootのIPアドレスでDNSが稼働
 - root zoneを提供されて動いていた
 - <http://www.communitydns.eu/Old-L.html>

その後

- ICANNや関係組織で議論した結果、旧L-rootのアドレスで稼働していたDNSを停止
 - <http://blog.icann.org/?p=309>
- 旧L-rootで利用していたブロック(198.32.64.0/24)の経路は広報停止
 - 2008年5月17日に最後のWITHDRAWN

経路広報で見える時間軸



root-serverと残存query

- リナンバ後も長期間に渡って結構な量のqueryがroot-serverに届く
 - 設定を更新しないDNS管理者
 - 何かのバグ
- B-rootのリナンバ時の調査では、
 - 2003年 8000query/sec
 - リナンバ実施
 - 2004年 2000query/sec
 - 2005年 2500query/sec
 - <http://www.caida.org/workshops/wide/0611/slides/manning-wide0611.pdf>

僕たちにできること

- root-serverに変更があれば追従する
 - アナウンスが出るので、覚えている間に対応
 - 特にキャッシュサーバの運用者
- 無用な設定が無いか見直す
 - コンテンツサーバであればroot.hintは必要無い
 - JPRSの技術情報などを参照
 - <http://jprs.jp/tech/notice/2006-03-29-dns-cache-server.html>
- 必要に応じて、利用しているDNSのソフトウェアをアップデートする

おわり